

政策	安全で快適な都市生活の充実	施策	市街地整備の充実	基本事業	人にやさしく わかりやすい街並みづくり		
部名	企画政策部	事業開始年度	平成16年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	企画課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	交通バリアフリー化の対象地区（R江別 野幌・大森駅を中心とした概ね半径500mの地域）
意図	高齢者や障がい者など全ての人が、駅及び駅周辺での安全で円滑な移動が可能となる。
	手段 交通バリアフリー基本構想に基づき、関係する公共交通事業者、道路管理者及び公安委員会と連携を図りバリアフリー化を推進する。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	交通バリアフリー化対象地区数	地区	3	3	3	3	
対象指標2							
活動指標1	補助金額	千円	0	4,149	0	0	
活動指標2							
成果指標1	移動が円滑になったと感じる市民割合	%		38.5	32.3	38.5	
成果指標2							
単位コスト指標							
	事業費計(A)	千円	0	4,149	0	0	0
	正職員人件費(B)	千円	0	1,245	416	407	0
	<b>総事業費(A)+ (B)</b>	千円	0	5,394	416	407	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			